

開院60周年記念号



中谷外科病院広報誌



Vol. 61

2026年8月発行



くまのみ 通信

医療法人 吉備会 中谷外科病院

〒706-0001 岡山県玉野市田井3-1-20

TEL 0863-31-2323 FAX 0863-31-8486

<https://www.nakatani-hosp.jp/>



開院60周年によせて ～変わらないもの、変わりゆくもの～

昭和41年8月1日、中谷外科医院として岡山県玉野市田井の地に誕生した当院は、おかげさまで今年開院60周年を迎えました。これまでの永きにわたり当院を支えてくださったすべての患者さん・職員・関係の皆様にご心より御礼申し上げます。

当院開院時、小学1年生だった私は、夏になると毎日のように、近くの海水浴場で泳ぎ、食べきれないほどのアサリを採っていました。そんな私も医師になり、父親から病院を継承し、院長として30年が経過しました。今も健康で、一日一日の診療に向き合えることに感謝の気持ちでいっぱいです。

60年の歳月の中で、社会は大きく変化し、私たちは嬉しいことも辛いことも数多く経験してきました。医療をとりまく環境は大きく様変わりし、当院は試行錯誤を繰り返しながら今日に至りました。そんな中、「患者さんと共に歩む」という当院の理念は60年を経た今も変わりません。変わらないものを大切にしながら、日々進化する医療に柔軟に対応していくことが大切だと私は考えています。

近年は人工知能（AI）をはじめ、医療技術は目覚ましい進歩を遂げています。今年、当院では最新の内視鏡システムを導入し、専門とする消化器内視鏡・肛門疾患の診療に大いに役立っています。これらの新たな技術や知見を生かし、患者さんにとって真に役立つ医療を提供し続けていく所存です。

そしてこれからも、一人ひとりの患者さんの声に耳を傾けながら、患者さんに寄り添う医療と心のこもったケアを提供できるよう、職員一同精進してまいります。引き続き変わらぬご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年8月吉日



医療法人吉備会 中谷外科病院 院長 中谷 紳

<中谷外科病院の理念>

私たちは
患者さんとともに歩みます

<基本方針>

- 1：常に患者さんの立場にたち行動します。
- 1：消化器内視鏡・大腸肛門病の専門病院として安全で質の高い医療を提供します。
- 1：多職種で連携し、充実したチーム医療を行います。
- 1：在宅復帰を支援し、地域社会に開かれた医療機関であり続けます。
- 1：職員同士の和を深め、思いやりのあるケアを実践します。

開院 60 周年にあたり



医療事務として入職以来53年間勤務し、多くの方々との出会いに恵まれ、今日まで勤め続けることができましたことに、心より感謝申し上げます。

この半世紀余りの間に、医療を取り巻く環境は大きく変化しました。手書きレセプトの時代から電子カルテへの移行など、医療のデジタル化が進む中、当院も時代の変化に対応しながら歩みを重ねてまいりました。

また、平成20年3月には第1回目の日本医療機能評価の認定を受け、その後も継続して受審を重ね、現在は4回目の認定をいただいております。これも職員一人ひとりの努力の積み重ねによるものと感じています。

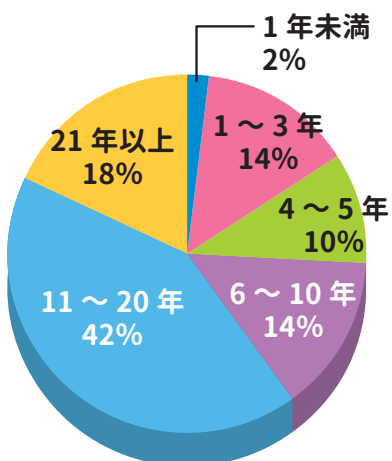
今後も地域の皆様により一層信頼され、安心して利用していただける病院を目指し、職員一丸となって努めてまいります。

最後に、会長、理事長をはじめ、これまで当院の歴史を築いてこられたすべての職員の皆様、そして現在も病院を支えてくださっている皆様に、改めて深く感謝申し上げます。

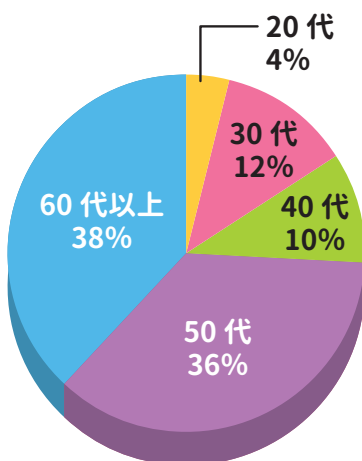
事務長 中谷 富江

中谷外科ってこんな病院

在職期間



年代



● 経験豊富な職員
● が多く、安心して
● 医療を提供で
● きる体制です。

患者さんが感じた
当院のイメージ
退院時アンケート（令和6年4
月～令和8年5月）の自由記述
から抽出しました。

優しい

親切

温かい

安心

丁寧

笑顔

信頼

清潔

親身

あたたかい言葉をたくさんいただき、ありがとうございました。
これからも、患者さん一人一人に寄り添い、安心して療養して頂ける病院を目指してまいります。

中谷外科病院に勤務させて頂き間もなく30年になります。
多くの失敗を繰り返しその都度仲間や先輩に助けられながら何とか越すことが出来た日々であったと思い返しています。また多くの患者さんやそのご家族との出会いを通して看護師であることの喜びを頂きました。

ある日のことです。退院から数日後に再入院された患者さんが帰院直後「家の匂いを嗅ぐ事が出来て良かった。退院してよかった」とポツリと言われた一言。その言葉にスタッフ一同胸をなで下ろしました。病状を案じて「大丈夫かな」「苦しくないのかな」等の心配は杞憂に終わりました。数日間でもご本人の意思を尊重し退院支援をして本当に良かったと思いました。そして、看護師で良かったと思えた出来事でした。

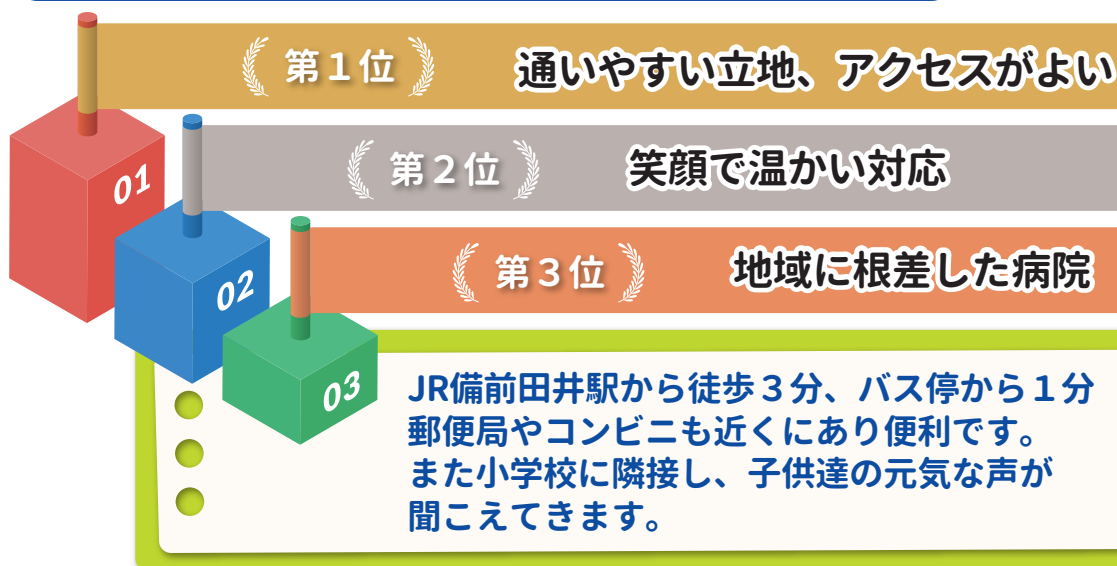
30年間を支えて頂いた仲間やスタッフ、上司、その他の皆様に心よりお礼を申し上げます。

60歳の中谷外科病院が今後も地域の病院としてますます皆様に愛される病院であって欲しいと思います。
看護部長 新田 照美



(職員数:約 50 名)

職員からみた当院の推しポイント (アンケート結果より)



地域活動 ～ダテカフェ～『転ばぬ先の知恵』

久しぶりに筆を執らせていただきます。日笠悠生です。前回、寄稿したのは、研修医の地域医療研修の際でしょうか。当院では、外来と病棟業務を行っている私ですが、実は公衆衛生も本職の一つです。以前から、診療を行うだけでなく、地域に飛び出して、病気にならないような取り組みに参加したいと思っていました。

そんな中、今回、ダテカフェの講師をしてきました。タイトルは「転ばぬ先の知恵」として、健康寿命を延ばすための転倒予防についてお話をしました。実際に講師をしてみると、みなさん熱心に参加してくださり、転倒予防運動では、みなさんで一緒に体操することができて、楽しい時間となりました(登壇するときにつまずき、講師が転倒しそうになったのはここだけの話・・・)。また、おいしいコーヒーもついてきて、さらに満足感も高かったです。月に一回いろんなテーマで開催されているようなので、ぜひ参加してみたいと思います。



医師 日笠 悠生

ようこそ!! 研修医の先生、実習生の皆さん

1か月間の地域医療研修を通して急性期病院とは異なる地域医療の役割と重要性について多くの学びを得ることができました。日々の外来診療に加え、訪問診療や特別養護老人ホームでの健診、看取りにも立ち会わせていただき地域医療が単に疾病を治療するだけではなく、患者さんの生活や人生の最終段階まで支える医療であることを実感しました。院長の患者さん、ご家族との関わりや生活背景を踏まえながら診療を行う姿勢は、今後医師として働く上で非常に重要であると感じました。また診療の中では主に創傷処置やシーネ固定などの基本的手技を多く経験させていただき、今後整形外科の道を志すにあたり大変実践的な学びとなりました。

地域の医療機関と基幹病院との連携についても理解を深めることができました。地域で診療された患者さんを自施設へ紹介し、その後の診療を引き継ぐという経験を通して日頃から築かれている医療機関同士の信頼関係と連携の大切さを実感しました。

今回の研修で得た経験を今後の診療に生かし、患者さんの生活背景にも目を向けた診療ができる整形外科医師を目指していきたいと思います。最後になりますが院長の中谷先生を始めとする医療スタッフの方々、そして研修中お世話になった事務の方々に改めて感謝申し上げます。

岡山ろうさい病院 初期研修医 和田 穰



栄養実習（ノートルダム清心女子大学）



中谷外科病院での実習は大変貴重な経験でした。特にミールラウンドや調理実習を通し、患者さんの病態や嚥下機能に合わせて食事形態が細かく調整され、安全のための様々な工夫がされていることに感銘を受けました。管理栄養士は患者さんに寄り添いながら、多職種と連携して栄養管理を担う重要な存在であると実感しました。今回の学びを今後の勉強に活かし、さらに知識と技術を深めていきたいです。

3年 横山 真衣（写真右）

今回の厨房業務や管理栄養士の職務実習では、学校の授業だけでは学べない多くのことを教えていただきました。特に印象深かったのはミールラウンドです。実際の食事や介助の様子を観察することで、ミスを防ぐための食札確認の重要性が理解できました。栄養状態改善のためには「おいしく楽しく」召し上がっていただくことが大切であり、病院食は他職種との連携で提供されているのだと深く学びました。

3年 黒田 朋子（写真左）

外来担当医表

[午前] 9:00～12:00（最終受付 11:45）
[午後] 15:00～18:00（最終受付 17:45）

	月	火	水	木	金	土
午 前	中谷 紳	中谷 紳	小山勝正	中谷 紳	中谷 紳	西 英行
	松本 祐	中村峻輔	清水彰人	西 英行	本後登志江	岡大病院医師
				鈴木健夫		
午 後	松本 祐	中谷 紳	内科専門医	日笠悠生	中谷 紳	午後休診

* 院長：水曜日 9:00～内視鏡検査